

## 第3期介護給付適正化計画の実施状況について

適正化事業名		事業の実施方法	平成28年度の実施状況						評価及び今後の方向性																																
主 要 5 事 業	要介護認定の適正化 (重点事業)	指定居宅介護支援事業所等に委託している区分変更申請及び更新申請に係る認定調査の結果について、保険者による点検を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">委託調査実施保険者数</th> <th colspan="2">委託調査分事後点検</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> </tr> <tr> <th>実施</th> <th>未実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>39</td> <td>5</td> <td>88.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 実施率は 【委託調査分事後点検実施保険者数÷委託調査実施保険者数】で算出</p>						年度	保険者数	委託調査実施保険者数	委託調査分事後点検		実施率(%)	実施	未実施	H28	54	44	39	5	88.6	本事業は要介護認定の適正化の基礎となる調査であるため、88.6%の保険者が実施している中で、未実施の保険者においては、事後点検を実施するための効率的な実施方法の検討が求められる。また、直営の保険者10保険者のうち5保険者で事後点検が実施されており、直営であっても引き続き事後点検の実施が望まれる。																		
	年度	保険者数	委託調査実施保険者数	委託調査分事後点検		実施率(%)																																			
				実施	未実施																																				
H28	54	44	39	5	88.6																																				
ケアプランの点検 (重点事業)	チェックシート等を活用したケアプラン点検を実施し、改善事項等について介護支援専門員に伝達し、改善を指導・支援する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">点検実施</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> <th rowspan="2">点検マニュアル活用</th> <th rowspan="2">適正化システム活用</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>23</td> <td>42.6</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>3,009</td> <td>50,972,704</td> </tr> </tbody> </table>						年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	点検マニュアル活用	適正化システム活用	過誤調整		件数	金額(円)	H28	54	23	42.6	13	10	3,009	50,972,704	ケアプラン点検の実施率が42.6%と、実施する保険者が全体の半分以下となっている。 本事業も要介護認定の適正化と同様に適正化事業の柱であることから、介護給付適正化計画において重点事業に位置付けているところである。 については、未実施の保険者においても、点検マニュアルや千葉県国民健康保険団体連合会が提供する適正化システム等を活用し、事務負担が少ない方法を検討した上で、早期の事業実施が必要である。															
年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	点検マニュアル活用	適正化システム活用	過誤調整																																			
						件数	金額(円)																																		
H28	54	23	42.6	13	10	3,009	50,972,704																																		
住宅改修等の点検・福祉用具購入・貸与調査	住宅改修 改修施工前に、受託者宅への訪問、写真又は工事見積の内容点検等により、改修の必要性や実態確認を実施するとともに、施工後等に施工状況を確認する。  福祉用具購入・貸与調査 利用者に対する訪問調査等により福祉用具の必要性や利用状況等を確認する。調査にあたって適正化システムを積極的に活用する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th rowspan="3">保険者数</th> <th rowspan="3">訪問実施</th> <th rowspan="3">実施率(%)</th> <th colspan="4">確認方法</th> <th rowspan="3">両方訪問(※)</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th colspan="2">施工前</th> <th colspan="2">施工後</th> <th rowspan="2">件数</th> <th rowspan="2">金額(円)</th> </tr> <tr> <th>訪問</th> <th>写真等</th> <th>訪問</th> <th>写真等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>15</td> <td>27.8</td> <td>10</td> <td>46</td> <td>10</td> <td>46</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>114,559</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)施工前、施工後の両方ともに住宅を訪問した保険者数を計上しており、調査対象が同じ訪問先の場合のみの件数である。</p>						年度	保険者数	訪問実施	実施率(%)	確認方法				両方訪問(※)	過誤調整		施工前		施工後		件数	金額(円)	訪問	写真等	訪問	写真等	H28	54	15	27.8	10	46	10	46	3	6	114,559	他の適正化事業と比較すると27.8%と実施状況は低くなっている。 事業の実施に当たっては、改修費が高額なもの、改修内容が複雑なもの他、申請者の身体状況、改修工事の種類、施工業者などの区分で分類し、施工後の訪問調査対象を絞り込むなど、効率的な訪問調査実施のための検討が求められる。	
年度	保険者数	訪問実施	実施率(%)	確認方法								両方訪問(※)	過誤調整																												
				施工前		施工後							件数	金額(円)																											
				訪問	写真等	訪問	写真等																																		
H28	54	15	27.8	10	46	10	46	3	6	114,559																															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">実施</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>11</td> <td>20.4</td> <td>45</td> <td>474,242</td> </tr> </tbody> </table>						年度	保険者数	実施	実施率(%)	過誤調整		件数	金額(円)	H28	54	11	20.4	45	474,242	他の適正化事業と比較すると実施率が20.4%と最も低い状況である。 まずは、サンプル調査として着手し、点検効果を確認しながら以後の調査方法を検討するなど、事務負担が少ない形での調査方法の検討が必要である。																		
年度	保険者数	実施	実施率(%)	過誤調整																																					
				件数	金額(円)																																				
H28	54	11	20.4	45	474,242																																				

## 第3期介護給付適正化計画の実施状況について

適正化事業名		事業の実施方法	平成28年度の実施状況						評価及び今後の方向性																
主要事業	縦覧点検・医療情報との突合 (重点事業)	縦覧点検 介護報酬の支払い状況を確認し、提供されたサービスの整合性等を点検し、請求内容の誤り等を早期に発見し適切な処置を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">点検実施</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>24</td> <td>44.4</td> <td>242</td> <td>2,298,462</td> </tr> </tbody> </table>						年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	過誤調整		件数	金額(円)	H28	54	24	44.4	242	2,298,462	千葉県国民健康保険団体連合会において出力される帳票を点検することにより、誤請求を早期に発見して事業者へ指導を行うことで、以後の誤請求の抑止効果が期待できる事業であるが、保険者の実施率は44.4%に留まっている。本事業は費用対効果も高いことから全保険者で実施が必要である。		
		年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	過誤調整																			
	件数					金額(円)																			
H28	54	24	44.4	242	2,298,462																				
医療情報との突合 医療担当部署の保有する入院情報等と介護給付情報を突合し、介護給付費等との重複請求の有無を点検する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">点検実施</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>26</td> <td>48.1</td> <td>389</td> <td>9,484,709</td> </tr> </tbody> </table>						年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	過誤調整		件数	金額(円)	H28	54	26	48.1	389	9,484,709	医療担当部署との連携体制が必要な事業であるが、他の適正化事業と比べ、1件当たりの費用対効果が高く、比較的取り組みやすい事業であることから、人員等の実施体制の確保が難しい保険者においても、早期の実施への検討が求められる。				
年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	過誤調整																					
				件数	金額(円)																				
H28	54	26	48.1	389	9,484,709																				
	介護給付費通知	利用者本人に対して、サービスに要した費用等を記載した通知書を送付する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">実施</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> <th rowspan="2">利用者からの問合せ件数</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>88.9</td> <td>547</td> <td>5</td> <td>16,311</td> </tr> </tbody> </table>						年度	保険者数	実施	実施率(%)	利用者からの問合せ件数	過誤調整		件数	金額(円)	H28	54	48	88.9	547	5	16,311	適正化事業の中で88.9%と最も実施率の高い事業であるが、費用対効果は低く、今後は、発送時期や通知内容、同封書類の工夫など、効率的かつ効果的な実施方法を検討していく必要がある。
年度	保険者数	実施	実施率(%)	利用者からの問合せ件数	過誤調整																				
					件数	金額(円)																			
H28	54	48	88.9	547	5	16,311																			
	給付実績データの活用	適正化システムを活用し、過去の給付実績から給付内容に疑義があるものを抽出・点検の上必要に応じて事業者への指導を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">保険者数</th> <th rowspan="2">点検実施</th> <th rowspan="2">実施率(%)</th> <th colspan="2">過誤調整</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54</td> <td>13</td> <td>24.1</td> <td>536</td> <td>3,280,937</td> </tr> </tbody> </table>						年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	過誤調整		件数	金額(円)	H28	54	13	24.1	536	3,280,937	主要5事業の実施と併せて、千葉県国民健康保険団体連合会の支払いの結果から得られる給付実績データを点検する事業で、今後の誤請求を防止する効果が期待できることから、縦覧点検と併せて実施することが望ましい。		
年度	保険者数	点検実施	実施率(%)	過誤調整																					
				件数	金額(円)																				
H28	54	13	24.1	536	3,280,937																				